※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	メタルクラフト実習	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒自身でデザイン、素材、課題を決定し、はじめから終わりまで創意工夫をし、課題を完成した喜びを体験する。また、生徒自身が使用できる身近なものの製作を通じ、金属加工方法（手仕上げ）について学び、オリジナリティーのある作品制作を目指す。

２　学習の到達目標

実際の作業に即した実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、金属加工に関する知識、技術などを総合的に習得し、地域や社会の健全で持続的な発展を担うことができるようにすることを目標とする。そして、実習を通し、金属加工に関する課題を見いだし、解決する方法を考え、主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・金属加工においての専門的な知識・技能の習得を目指す。	・実習を通して、金属加工における課題を自ら見いだし、解決することを行う。	・テーマごとの加工実習において、主体的に取り組み、製作しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

前期	後期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
4月	10月	文鎮の作成	材料切りだし ヤスリがけ(平面) すりあわせ(光明丹)	a:正しいヤスリがけの方法を知り、実習を通して、技能を高める。 b:平面を出すには、どのような工夫がいるかを考え、表現することができる。 c:文鎮の製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
5月	11月	ペーパーナイフの作成	アイデアデザイン デザインの決定 ヤスリがけ(平面・刃面) ペーパーヤスリがけ	a: 正しいヤスリがけの方法を知り、実習を通して、技能を高める。 b:平面・刃面のヤスリがけの方法を考え、正しく判断することができる。 c: ペーパーナイフの製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
6月	12月	栓抜きの作成	アイデアデザイン デザインの決定 ヤスリがけ(穴) ペーパーヤスリがけ	a: 正しいヤスリがけの方法を知り、実習を通して、技能を高める。 b:穴のヤスリがけの方法を考え、表現することができる。 c: 栓抜きの製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
7月	1月	指輪の作成	アイデアデザイン デザインの決定 ロウ付け ヤスリがけ(細部)	a: 正しいロウ付けの方法を知り、実習を通して、技能を高める。 b:ロウ付けの自らの手で方法を考え、正しく判断することができる。 c: 指輪の製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
9月	2月	表札の作成	アイデアデザイン デザインの決定 叩き出し	a: 表札の製作方法を知り、実習を通して、技能を高める。 b:自らの手で方法を考え、正しく判断することができる。 c: 表札の製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
		ペンたての作成 (銅版レリーフ)	アイデアデザイン デザインの決定 叩き出し 完成した作品を枠に装着	a: ペン立ての製作方法を知り、実習を通して、技能を高める。 b:自らの手で方法を考え、正しく判断し、表現することができる。 c: ペン立ての製作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度